

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	血液および髄液中グルタミン酸値とくも膜下出血後の重症度および転帰の関連性の検証
研究責任者 (所属科名)	松重 俊憲 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 主任部長)
研究の目的・意義	グルタミン酸は中枢神経系の主要な興奮性伝達物質で、くも膜下出血後に過剰な放出を認めることで、遅発性脳虚血の発症および転帰に関与する可能性があります。一定の見解はありません。本研究では日常診療における保険診療範囲内での血液・髄液検査、MRI 検査の結果を集積し、くも膜下出血後のグルタミン酸値と関連する画像、症状の関連を解析します。本研究結果から、くも膜下出血後のグルタミン酸値とその重症度、転帰の関連性の解明が期待されます。
調査方法・期間	後ろ向き観察研究 データの収集期間：2024年8月1日～2025年8月30日まで 研究期間：2026年3月までを予定
対象者の選定	・対象となる患者 2022年10月1日～2024年9月30日までに広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経外科にて血液検査、髄液検査および画像検査を実施したくも膜下出血患者 ・利用する情報 電子カルテ上で血液検査・髄液検査・MRI・脳波検査の結果を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	特にありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立北部医療センター安佐市民病院 脳神経外科・脳血管内治療科 主任部長 松重 俊憲 (1092)
備考	